

「新人目線」の用語解説

語句よみ

第242号



今回のテーマ 進化したインターネットの世界、メタバース

日興アセットマネジメントの新人。営業推進部門に配属され、投信や経済について勉強中。

近年、進化したインターネットの世界を意味する「メタバース」に注目が集まっており、企業による関連サービスの開発などが期待されています。今回は「メタバース」と、それを支える「NFT」について調べてみました。

1. メタバース

メタバース (Metaverse) とは、「メタ (Meta / 超越)」と「ユニバース (Universe / 宇宙)」を組み合わせた造語です。メタバースの定義には様々なものがありますが、一般的に、「デジタル上に構築されたバーチャル世界および関連サービス」や、「リアルとデジタルの垣根を越え、あらゆるものが相互に接続された状態」などを指します。

メタバースという言葉は、米国の作家が1992年に描いたSF小説で初めて登場したと言われています。2003年頃には、バーチャル世界で物品や空間内の土地を売買することなどが可能な、メタバースの先駆けともいえるサービスが流行しました。しかし、当時はPCの処理能力や関連技術が十分に発達しておらず、バーチャル世界に同時参加できるユーザーの数も限られていたほか、高い没入感が得にくかったことなどから、世の中に広く普及するまでには至りませんでした。

ところが近年では、インターネット通信の高速化やVR (仮想現実)・AR (拡張現実) 技術の普及など、デジタル関連技術の発達に伴い、メタバースへの注目度が大きく高まっています。没入感の高さを活かしたゲームを楽しむだけでなく、バーチャル空間内での土地の売買やショッピング、バーチャルオフィスにアバターで出社し

ステップアップ

微細な超音波などを活用し、手触りや身体に受ける衝撃を仮想空間や遠隔で体験できる「ハプティクス技術」が注目されています。ECサイトで衣類の質感を確かめたり、医師が遠隔医療で患者の脈をとるなど、様々な分野で活用可能なことから、メタバースの普及を後押しする技術と考えられています。



(次のページへ続きます)

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。

仕事をするなど、現実世界と同様に、バーチャル世界でも様々な経済活動が行なえるようになって見込まれています。

メタバースが人々の生活の一部となることで、巨大な消費市場（デジタル経済圏）が誕生すると期待されていることから、企業もメタバース分野におけるビジネス展開に高い関心を寄せており、今後、新たなサービスの開発やM&A（合併・買収）の増加など、同分野における企業の活動も活発化すると考えられます。

2. NFT

NFT(Non-Fungible Token: 非代替性トークン)とは、PCやタブレット上で作成したアート作品や音楽などのデジタルデータに、所有証明などの情報を記録し、固有の価値を持たせたデジタルアセット(資産)を指します。一般に、デジタルデータはコピーや偽造が容易ですが、NFTはブロックチェーン技術を活用することでデータがオリジナルのものだと証明できるほか、取引履歴の確認や所有者を証明することなども可能となります。

従来のインターネットの世界では、音楽や電子書籍などのデジタルデータの所有権はサービスを提供する企業が保有しており、企業がサービスを終了すれば購入したデジタルデータは活用できなくなります。また、デジタルデータの利用は個々の企業のプラットフォーム内に限定され、異なるプラットフォーム間での移転は難しいという側面がありました。しかし、NFTを用いる新たなインターネットの世界では、デジタルデータの所有権はユーザー自身にあり、プラットフォーム間での移転も可能となることから、デジタル世界での人々の活動や各種取引がこれまで以上に活発化すると期待されます。こうしたことから、NFTは、メタバースが巨大なデジタル経済圏を構築する上で欠かせない、キーテクノロジーだと考えられています。

現在、NFTは、アートやゲームなどの分野での活用が中心となっていますが、大手メディアや金融機関などがNFT分野へ相次いで参入し始めており、今後、活用される分野や領域の拡大が期待されます。NFTは、デジタル経済圏の拡大に大きな役割を果たす可能性を有しており、同分野における新たなビジネスの登場など、今後の発展に注目が集まっています。

メタバースへの関心は世界中で高まっており、企業も大きなビジネスチャンスを探るべく、動き出しています。これまでにない商品・サービスが開発される可能性もあることから、メタバースを巡る動向には要注目ですね。

ステップアップ

NFTはスポーツ界からも注目されています。米バスケットボールリーグのほか、欧州のサッカークラブや日本のプロ野球球団などがNFT分野に参入し、コレクショングッズの販売や、ファンとのコミュニケーションツールとして活用するなど、様々な取り組みを進めています。



facebook twitter で、経済、投資の最新情報をお届けしています。

■当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。